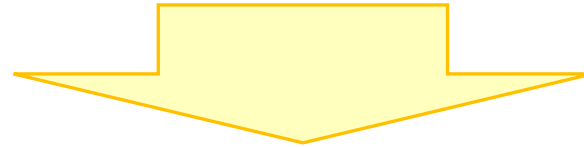


### <取組の経緯>

- 市町の個別避難計画「着手率」「作成率」が毎年横ばい
- 市町への働きかけに加えて、もう一步踏み込んだ対応が必要



『取組みが進んでいない市町は、まずは取組みに着手』

『取組みが進んでいる市町は、取組みの加速化』

## <取組のポイント①>

- 市町の課題を把握
- 課題解決のための支援を「着実」に実施

### （令和4年度の取組状況）

課 題	内 容
① 優先度の高い方への福祉専門職と連携した計画作成の <b>具体的な進め方が分からない。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町職員向け計画作成研修会の実施</li> <li>○福祉専門職向け計画作成研修会の実施</li> <li>○県モデル事業（福祉専門職と連携した個別避難計画作成） 「調整会議」の市町職員視察会の実施</li> </ul>
② 取組を進めるにあたっての <b>相談先が必要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内市町支援体制の整備 県モデル事業を通して、<b>県社会福祉協議会（委託先）にノウハウを蓄積することにより、県内市町相談等に対応できる体制を整備</b></li> </ul>
③ 取組を進めるにあたっての <b>財政支援が必要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画作成に係る<b>補助メニューの新設（R4～）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：県内市町</li> <li>・交付対象：計画作成に関連する事業</li> <li>・交付率、補助上限額：1/2、30,000千円</li> </ul> </li> </ul>

## <取組のポイント②>

- 取組が遅れている市町の取組を支援

### （令和4年度の取組状況）

- グループワークの実施

- ・ 県から市町への働きかけに加えて、市町社協を巻き込んだ取組を実施
- ・ 「取組が進んでいる市町・市町社協」「取組が遅れている市町・市町社協」「ファシリテーターの県社協」を1グループとしてグループワークを実施

#### （グループワークの内容）

##### 【ワーク①】

「優先順位付け」「庁内連携」「福祉専門職との連携」「地域との連携」の各々に「やるべきこと」を記載

##### 【ワーク②】

ワーク①に記載した優先度の高い内容について、「何を」「どのように」「いつまでに」を記載

## < 課題・方針案 >

### ① 取組が進んでいない市町への対応

未着手市町（5市町 → 1市町）

⇒マンパワー不足で取組困難との理由であったため、来年度、県社協と連携した伴走型支援を実施予定

### ② 優先度が高い対象者数の把握

未把握市町（28市町 → 26市町）

⇒来年度、優先度把握のテーマを取り入れた意見交換会を実施予定  
（例）優先度把握市町に事例発表してもらい意見交換等

### ③ 市町の進捗把握

消防庁調査以外に市町の進捗を把握

⇒来年度、意見交換会実施後、各健康福祉センターにおいて、市町個別ヒアリングを実施予定

## <成果が得られたこと>

「県」から「市町」への取組支援に加えて

「県＋関係団体（県社協、市町社協等）」から「市町」への取組支援を実施

⇒関係団体と一緒に意見交換会の内容を検討することにより、新たな取組を行うことができた。

（例）市町に市町社協、ファシリテーターの県社協を加えたグループワーク等

## <成果が得られなかったこと>

未着手市町に、まずは1件個別避難計画作成に着手してもらうこと

⇒年間スケジュールの作成から調整会議の実施まで、マンツーマンでの支援が必要